令和５年度　事業報告

社会福祉法人富士旭出学園

今年度は、富士清心園の社会福祉施設等施設整備費補助金による建設工事を中心に事業を進めてきました。利用者の高齢化・重度化が顕著になり、入院や死亡による退所の割合も高くなってきており、住環境の整備が急がれておりました。建設工事中は、資材の枯渇による工期の心配もありましたが、無事に年度内に竣工することができました。

昨年度の50周年記念事業は縮小して行いましたが、今年度の51周年記念の集いは、４年ぶりに対面式で行うことができ、多くの方が出席くださいました。その他の行事は、形を変えて実施し、感染対策を施しながら行動制限を緩和し、以前の生活を取り戻すよう努めてきました。

また、令和６年度に向けて給食業務委託化、富士清心園解体工事・周辺整備工事、採用プロジェクトチームの発足、職員の処遇改善など多岐にわたり取り組んでまいりました。

令和５年度の主な事業については以下のとおりです。

＜法人運営＞

1．理事会開催状況

（1）第1回　令和５年６月１日（木）

①　令和４年度事業報告及び附属明細書（案）の承認について

②　令和４年度計算書類及び附属明細書、財産目録（案）の承認について

③　役員候補者について

④　定時評議員会の招集（案）について

⑤　富士清心園創設工事について

報告事項　　・理事長職務の執行状況報告　・理事長専決事項

（2）第２回　令和５年６月16日（金）

①　理事長の選定について

（3）第３回　令和５年８月17日（木）

①　給食業務委託について

（4）第4回　令和５年10月31（火）

①　給食業務委託について

・業者選定結果について　・給食業務委託化について

②　富士清心園創設工事について

・進捗状況について　・工事資金について　・富士清心園解体工事に伴う財産処分について

③　福祉医療機構借入金について

・借入金契約について　・基本財産の担保提供について　・貸付条件変更承認について

④　令和５年度第一次補正予算（案）の承認について

⑤　評議員会の招集（案）について

報告事項　　・会計相談について　・役員賠償保険について　・資金運用について
・理事長職務の執行状況報告　・理事長専決事項

（5）第5回　令和6年1月31日（水）

① 富士清心園創設工事について
・進捗状況について　・中間検査結果報告　・概算払いについて　・設計変更について
・部分払い報告

② 富士清心園解体工事について
・財産処分について　・基本財産処分について　・解体工事について
・民間助成団体への報告

③ 給食部委託化について

④ 諸規程の変更（案）について
・就業規則　・給与規程

⑤ 人事（案）について

報告事項　　・実地指導について

（6）第6回　令和6年3月18日（月）

① 富士清心園創設工事について
・工事の進捗状況　・変更契約（案）

② 旧富士清心園解体工事について
・新たな計画（案）について　・設計業務委託について

③ 令和5年度第二次補正予算（案）について

④ 地域支援における事業所の編制（案）について

⑤ 令和6年度事業計画（案）について

⑥ 令和6年度当初予算（案）について

⑦ 運営規程の変更（案）について

報告事項　　・富士宮市指導監査について　・給食業務委託契約等について
・事業継続計画について　・SNS 運用規程等について
・令和6年度職員人事について　・理事長職務の執行状況
・理事長専決事項

2．評議員会開催状況

（1）定時評議員会　令和5年6月16日（金）

報告事項　　・令和4年度事業報告及び附属明細書　・令和5年度事業計画
・令和5年度当初予算　・富士清心園創設工事

① 令和4年度計算書類及び財産目録（案）の承認

② 役員の選任について

（2）第2回　決議の省略　（決議があったとみなされた日　令和5年11月3日）

① 基本財産の担保提供について

② 基本財産の処分について

３．登記事項

令和５年６月28日	代表者の重任登記
令和５年６月28日	資産の総額登記
令和５年11月17日	富士清心園創設工事の福祉医療機構からの借入金に伴う抵当権追加設定

４．届出事項

令和５年５月10日	障害者雇用納付金申告書	（独）高齢・障害・求職者支援機構
令和５年６月28日	事業税申告書（納付なし）	静岡県沼津財務事務所
令和５年６月30日	法人税申告書（納付なし）	富士税務署
令和５年６月30日	償却資産申告書	富士宮市資産税課
令和６年２月27日	就業規則等変更届	富士労働基準監督署
令和６年２月27日	時間外労働休日労働に関する協定届 就業規則、その他関係規程の変更届	
令和６年３月27日	次世代育成支援対策推進法 一般事業主行動計画策定届（第４期）	静岡労働局

５．監査状況

（１）障害福祉サービス事業者等の実地指導

実施者　静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課

事業所　富士明成園　令和５年11月７日実施

指導事項　改善指導事項なし

（２）社会福祉法人に対する指導監査

実施者　富士宮市保健福祉部高齢介護支援課指導総務係

法人監査　令和５年11月15日実施

指導事項　文書指摘事項あり　令和６年３月６日改善計画提出

６．監事監査等の実施状況

令和５年５月１日	監事監査研修会（オンライン研修）監事には各自オンラインで依頼
令和５年５月25日	決算監査 令和４年度事業報告等および計算関係書類及び財産目録の監査
令和５年６月１日	理事会出席
令和５年６月16日	定時評議員会・理事会出席
令和５年８月17日	理事会出席
令和５年10月31月	理事会出席
令和６年１月31日	理事会出席
令和６年３月18日	理事会出席・施設巡視

<事業活動>

1. 社会福祉充実計画の取組み

富士清心園創設工事完工

定　員　入所　40名　生活介護　50名　短期入所　5名

入　札　令和5年7月10日　契約日　令和5年7月14日

地鎮祭　令和5年7月20日　竣工日　令和6年3月22日

構　造　鉄骨造2階建　延べ面積　2,391.52㎡

設　計　株式会社アルファ設計

施　工　井上建設株式会社

総工費　主体工事費　1,030,766千円　設計監理　42,460千円　合計　1,073,226千円

財　源　補助金　370,301千円　静岡県351,200千円　富士宮市19,101千円（5年間95,508千円）

借入金　270,000千円（令和5年11月14日　独立行政法人福祉医療機構　契約）

自己資金　432,925千円　合計　1,073,226千円

2. 給食業務の委託化

（1）令和6年4月1日から障害者支援施設の給食業務委託化へ向けた取り組み

指名型プロポーザル　令和5年10月3日実施

委託先　富士産業株式会社

契約日　令和6年3月4日　管理費　3,817,000円（月額）

（2）給食部職員への対応

弁護士等に相談し職種変更等の選択肢を提示し各自意思確認

→　転職希望5名、令和6年度から生活支援員等希望5名

3. 社会福祉充実残額活用実績　単位：円

事　業　概　要	令和5年度活用計画	令和5年度活用実績
富士清心園改築（創設）事業	239,180,000	239,180,000
合　計	239,180,000	239,180,000

※　令和5年度の社会福祉充実残額は生じなかった

4. 利用者の立場に立った良質で安全・安心なサービス

（1）業務継続に向けた感染症、災害への対応力の取組みの強化

① 新興感染症等発生時事業継続計画

② 災害時事業継続計画

→　非常時の職員配備体制、職員行動基準等を定めた

（2）平時の感染症対策

① 新型コロナが5類となったが、平時の感染対策は継続し外出・外泊は緩和した

② インフルエンザ予防接種、新型コロナ予防接種実施（希望者）

③　感染症の状況

富士厚生園	コロナ　R5.7.13～7.22　入所８名　　通所 R5.7.19～7.24 閉所
	コロナ　R5.8.17～9.3　　入所４名
	コロナ　R5.9.18～9.28　入所５名、職員２名
	インフルエンザ　R6.1.26～2.4　入所１名　みなし陽性５名
富士清心園	ノロウイルス　R6.1.18～2.7　入所２名　みなし陽性 21 名
富士明成園	コロナ　R6.2.29～R6.3.12　入所利用者 11 名・職員３名

（３）Wi-Fi 型インカムシステムの活用

①　職員間で利用者の状況把握を円滑にし、職員数が限られている夜間帯等の安心安全の確保

②　情報共有することで現場全体の動きを把握し業務の効率化を図った

③　生活支援員にイヤホン支給

５．人材育成と人材確保

（１）キャリアパス制度

①　キャリアパス基準に基づき人事評価を実施し次年度の昇給・昇格に反映した

②　等級ごとの研修内容を提示して計画的に実施した

（２）定着支援と職場内研修の強化

①　入職後の職員に先輩職員を配置して日常的に指導・育成支援を行った

②　オンライン研修サポーターズカレッジを導入し各自の研修計画に則り受講・振返りを実施

（３）採用プロジェクトチームの発足

①　SNS 発信の企画調整と富士旭出学園インスタグラム導入準備

②　新卒採用面接会に参加

③　採用状況

R5.4.1～R6.3.31

	求人サイト	ｈｐから応募	ハローワーク	広告	職場実習	その他	合計
新卒採用	0	0	0	0	0	0	0
中途採用	4	2	3	0	0	2	11

６．地域への情報発信、地域貢献と地域交流

（１）ホームページの更新　　令和６年２月８日全面的にリニューアル

（２）学生・利用者の実習受け入れ

（３）地域とのつながり

①　地域貢献活動として天母山周辺の環境整備実施

②　市内民生委員の研修、教職員３年次研修等の協力

③　奇石博物館イベント駐車場、富士山一周フットレースの中継所として協力

④　山宮一区文化祭に利用者の作品展示

（4）防災拠点としての取組み

① 障害者福祉施設等の使用協定

② 防災倉庫の設置と備蓄食品の確保

7．職員の働きやすい職場環境の実現

（1）衛生委員会を中心とした取組み

① 職場におけるハラスメント防止

② 職員の労災防止活動

③ ストレスチェック、定期健康診断の二次検査の推進、特定業務従事者健診、インフルエンザ予防接種の実施

④ 職場環境改善のため中央労働防止協会の管理監督者研修を実施

（2）令和6年度に向けて次世代育成法に基づき行動計画を策定

8． 三大行事等の実施状況

（1）　第51回創立記念の集い　令和5年5月27日（土）
4年ぶりに来賓、家族を招待し対面式で開催

（2）　おもいっきり交流会　令和5年9月29日（金）
利用者と職員のレクリエーション・記念撮影

（3）　富士旭出ふれあい祭　富士清心園創設工事のため中止し地域貢献活動を実施
令和5年10月21日（土）
学園から徒歩で天母山自然公園と周辺道路のゴミ拾い

（4）　子ども参観日　令和5年10月21日（土）
職員の親子が地域貢献活動に参加後、福祉体験
11名参加

9．苦情解決委員会・第三者委員会・虐待防止委員会

令和5年6月8日	第1回虐待防止内部委員会
令和5年7月27日	第1回苦情解決委員会　第1回第三者委員会 第2回虐待防止委員会　第1回身体拘束委員会　第1回外部委員会
令和5年11月24日	第2回苦情解決委員会　第3回虐待防止委員会　第2回身体拘束委員会
令和6年1月18日	第3回苦情解決委員会 第4回虐待防止委員会　第3回身体拘束委員会
令和6年3月21日	第3回苦情解決委員会　第2回第三者委員会 第5回虐待防止委員会　第4回身体拘束委員会　第2回外部委員会

10. 苦情・相談受付内容

発　生　日	申出人	内　　容	対　　応
令和５年５月３日 （富士厚生園）	家族	施設からの電話着信があり、折返したが取次ぎがされず10分以上待たされた。	電話設備更新後で対応職員が操作を理解できていなかった。操作方法を再確認しお待たせしてしまう場合は相手に状況をお伝えし、折返し電話をするなどの対応を取るようにしたい。
令和５年９月３日 （富士明成園）	家族	日中一時利用の際、抗原検査を実施した支援員のやり方が乱暴であった。	対応した職員はじめ施設全体で利用者への支援や接し方について、各自が客観的に振り返り現状の見直しを行った。感染拡大時の利用は家庭で検査してからの来園をお願いし、唾液用の検査キットを渡した。
令和５年11月18日 （富士厚生園）	家族	短期入所迎えの際、外靴がなく30分以上待たされた。	靴の管理方法が統一されていなかった為、受入れマニュアルを見直し全体に周知した。
令和５年11月28日 （富士厚生園）	家族	短期入所の際、ジュース５本持たせたが１本しか飲んでいなかった。また連絡帳に夜間の様子も記入してほしい。	荷物チェック表に記載のある荷物のみ確認させていただくことを了承いただき、連絡帳には夜間の様子が記載できる欄を設けた。

11. 虐待解決結果報告

発生日	通報日	通知日	行政機関	協議結果	改善の依頼内容
令和5年5月31日 （富士明成園）	6月2日	6月16日	富士宮市	身体的虐待	外部有識者のスーパーバイズを受け、再発防止に取り組むこと。
令和５年７月５日　富士明成園支援部会議に富士宮市障がい療育支援課係長、同課担当職員、富士宮市基幹相談支援センター相談調整コーディネーター、富士圏域発達障害支援コーディネーターが参加し、意見交換・助言を頂いた。					

12. リスクマネジメント委員会・感染症対策委員会

令和５年7月13日～7月24日	感染症対策委員会　　富士厚生園　　利用者、職員新型コロナ感染による
令和５年８月21日～9月６日	感染症対策委員会　　富士厚生園　利用者新型コロナ陽性による
令和５年9月19日～10月２日	感染症対策委員会　　富士厚生園　利用者、職員新型コロナ感染による
令和５年12月11日	リスクマネジメント委員会　事業継続計画について
令和６年１月19日	感染症対策委員会　　富士清心園　利用者ノロウイルス感染による
令和６年１月29日	感染症対策委員会　　富士厚生園 利用者インフルエンザ感染による

令和６年２月１４日	リスクマネジメント委員会　事業継続計画について
令和６年３月１日～３月１２日	感染症対策委員会　富士明成園　利用者、職員新型コロナ感染による

１３．事故報告内容

内　容	富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター あさひで	サニーヒル	法人本部
怪我（原因不明の受傷含む）	１	８	５	０	０	
所在確認（施設内・施設外）	０	１	０	０	０	
転倒・転落	１４	１１	１７	１	０	
興奮時の怪我	０	０	０	０	０	
他害	０	１	６	０	０	
破損	１	１	１	０	１	
異食	０	０	１	０	０	
誤薬・服薬ミス・服薬忘れ	２	４	４	０	０	
所持品等の確認ミス	０	０	０	０	０	
その他（職員・外部の不注意等含む）	０	２	０	０	０	２
職員車輌事故	０	４	０	２	０	０
行政へ報告した件数	０	１	０	０	０	

１４．年間行事

月　日	行　事　内　容	
４月５日	お花見	感染予防しながら屋外でお花見弁当
４月１５日	旭出グループ新任職員研修会	オンラインで開催　４名参加
４月１７日	辞令交付式 職員全体会議	新任職員採用辞令（各部署主任以上と採用職員のみ） 令和５年度事業計画等について
４月２１日	新任職員研修	新任職員　５名参加
５月１８日	天理教富士支部　環境整備	富士旭出学園構内　草刈り・清掃などの奉仕活動 48 名の参加
５月２７日	創立５１周年記念式典	出席者　374 名
６月１７日	富士宮市福祉スポーツ大会	サポートセンター参加
７月	利用者胸部レントゲン・心電図検査	蒲原病院健診車による
８月１日	職員バス健診	蒲原病院健診車による定期健康診断
８月９日	夜間避難訓練	２１：１５　富士厚生園出火想定
８月１９日	小江戸大江戸トレニックワールド	富士山山麓一周フットレース　中継所として提供

8月22日～26日	富士旭出作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
9月1日	総合防災訓練	震度6以上の地震発生を想定し情報伝達訓練、避難誘導訓練、地震DVD鑑賞、非常食試食
9月1日～9月22日	ストレスチェック期間	職員自身がストレス状況を検査項目に応じて検査
9月17日	敬老会	山宮一区区民館にて記念品受取　14名対象
9月20日	富士宮市民生児童委員	ボランティア・研修会
9月29日	おもいっきり交流会	利用者・職員の交流会
9月29日	大岩地区民生委員	施設見学
10月15日	奇石博物館	わくわく収穫感謝祭　駐車場
10月21日	地域貢献活動の日 子ども参観日	職員による天母山周辺のゴミ拾い 地域貢献活動の参加と福祉体験
11月1日	社会福祉施設防災の日	土砂災害発生を想定し情報伝達訓練、非常食試食
11月4日～5日	山宮一区文化祭	山宮一区区民館にて作品展示
11月	東部地域成人施設スポーツ交流会	各施設のダンス動画・活動のDVD鑑賞
12月4日～12月8日	富士宮市福祉作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
12月14日～12月18日	愛護ギャラリー展	富士明成園作品　銅賞
2月	富士山本宮浅間大社節分慰問	中止

15. 合同委員会・合同会議

名　称	開　催　日	構　成　員
園長会	随時	理事長・施設長・事務長
運営協議会	月1回	理事長・施設長・事務長・課長
評価委員会	R6.2.2　R6.2.26	理事長・施設長・事務長
衛生委員会	月1回　第4月曜日	産業医・衛生管理者・衛生委員
感染症対策委員会	随時	運営協議会・衛生管理者・看護師他
労務管理コンサルティング	月1回	社会保険労務士・事務長・施設長
予算会議	R5.10.13　R6.2.13～15	統括会計責任者・会計責任者・出納職員
固定資産会議	R6.2.14	統括会計責任者・固定資産管理責任者 事務課長・主査・主任
創立記念祭実行委員会	随時	当番施設実行委員長・各部署実行委員
ふじあさひで編集委員会	4月～5月　随時　7月1日発行	各部署により委員会を構成

16. 職員の状況　（R5.4.1～R6.3.31）　※　嘱託職員は、定年後継続再雇用となった職員

①　採用・退職・有給休暇

施　設　名	勤務形態	採用職員	退職職員	職員合計	有給休暇取得実績
富士厚生園	正規	2	3	32（相談1）	54%
	嘱託	0	1	0	78%
	パート	2	3	6	73%
富士清心園	正規	3	3	21（相談1）	61%
	嘱託	0	1	1	53%
	パート	0	0	3	100%
富士明成園	正規	1	6	27（相談1）	62%
	嘱託	0	1	2	54%
	パート	1	0	5	64%
	派遣	0	0	2	—
サポートセンターあさひで	正規	0	0	4	66%
	パート	0	0	1	89%
グループホームサニーヒル	正規	0	0	1	99%
	パート	2	1	5	33%
相談支援事業所ふじあさひで	正規	0	0	（兼務3）	—
合　計	正規	6	12	85（兼務3）	59%
	嘱託	0	3	3	58%
	パート	5	4	20	75%
	派遣	0	0	2	—
総合計		11	19	110	62%

②　産前産後休業、育児休業・介護休業・傷病休暇・労働災害

施　設　名	産休育休	育児短時間	介護休業	傷病休暇	労働災害報告
富士厚生園	2	0	0	0	0
富士清心園	1	0	0	1	1
富士明成園	0	1	0	3	1
サポートセンターあさひで	0	0	0	0	0
グループホームサニーヒル	0	0	0	0	0
相談支援事業所ふじあさひで	0	0	0	0	0
合　計	3	1	0	4	2

＜第一種社会福祉事業＞

障害者支援施設

（富士厚生園）

利用者が「安心して安全に生活できる」ようにサービスを提供した。

そのためには、職員一人一人が健康でなければならず、職員が心身ともに健康に対する意識の高揚を図れるように努めた。

１．施設支援

（１）　勤務体制

早番１名（７：00～16：00）

中番１名（10：00～19：00）

遅番２名（12：00～21：00）

夜勤３名（15：00～24：00 準夜勤・０：00～９：00 深夜勤）

日中支援する職員が不足するため、中番を設け支援を行った

（２）　利用者と生活支援員の状況

①　利用者の状況

入所利用者　現員 38 名　定員 40 名

通所利用者　現員 11 名（利用者数）　定員 20 名

・　利用者の定員を充足するため、富士宮市社協等の相談事業所に話を持ち掛ける。富士宮市から２名の新規利用が開始された。

・　呼吸器疾患で１名、悪性腫瘍で１名の利用者が亡くなった。

・　入院状況　肺炎延べ６名、憩室炎延べ１名

・　各施設の特色を明確化するため、利用者異動を法人全体で検討する。来年度に向け、富士厚生園と富士明成園の利用者を１名ずつ異動。

②　生活支援員の状況

利用者２名に対し生活支援員１名を配置した。（人員配置体制加算Ⅱの取得）

→生活支援員 29 名、看護師１名を配置

通所利用者 11 名（利用者数）に対しては、常時３名の職員を配置した。

・　利用者の状況から本来であれば、生活支援員を増員したいが、近年、求人に対して応募がなくその対応に苦慮している。

・　疾病に伴う薬の増量、通院件数の増加があり、看護師を２名配置としたが、雇用契約延長の終了に伴い 12 月から１名体制となる。

２．　個別支援計画・面会について

利用者とその保護者との面談を下記のとおり実施した。

（1） 個別支援計画

・ 5・6月及び10・11月 対面で実施した。

（2） 面会・外出

・ 令和5年5月8日より新型コロナが2類感染症から5類感染症になり、対応を協議した。全般的に解除の方向とするが、感染の動向に注意しながら対応する。

・ 利用者本人、保護者の希望により、電話やオンライン面会を実施。

3． 健康管理と感染症予防

（1） 個別支援計画に沿ったバイタルチェック（検温、血圧測定等）の実施。

（2） 少しの異常でも早期の通院（医療に繋げる）を実施するが、誤嚥性肺炎と診断されるケースが増えている。

（3） フジヤマ病院根本院長による往診により慢性疾患の利用者の通院負担が軽減された。

（4） インフルエンザ予防接種を令和5年11月17日に実施。

（5） 新型コロナワクチンの6回目（7月13日)、7回目（12月8日）の接種。

（6） 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス）対策（定期的な換気、手指消毒等）の徹底。

・ 発熱通院時には、インフルエンザ検査と抗原検査を実施し、陰性であることを確認してからの診察となった。（発熱外来待機：フジヤマ病院）

（7） 行事の縮小と内容変更を行い、3密を避ける配慮を行った。

（8） 職員の感染症対策徹底

・ 職員には出勤退勤時の検温と寮内換気の徹底を図った。

・ 3密を考慮し、外部研修を自粛し、オンライン研修、小集団での内部研修を実施。

・ 富士厚生園のマニュアルを再確認し、現場に即した対応を検討する。

（9） 緊急時の応援協定

緊急時の食事を確保するため、株式会社大富士と災害時応援協定を締結する。

（10） 利用者及び職員の新型コロナ感染状況

・ 令和5年7月13日～22日 男性入所利用者8名の感染が確認された

・ 令和5年8月17日～27日 女性入所利用者3名の感染が確認された

・ 令和5年8月29日～9月3日 女性入所利用者1名の感染が確認された

・ 令和5年9月18日～28日 女性入所利用者5名、職員2名の感染が確認された

（11） 利用者のインフルエンザ感染状況

・ 令和6年1月26日～2月4日 女性入所者1名 みなし陽性5名

・ 感染症発生時には、感染症対策委員会を開催し、他園から物心ともに協力を得ながら対応した。

4． 職員の危機意識の高揚（健康・安全管理対策）

（1） ほうれんそう（報告・連絡・相談）の徹底。

（2）　整理・整頓・清潔・清掃の習慣（しつけ）を身に着け、施設の環境美化に努めた。

（3）　生活習慣に留意し体調不良の場合は、早期に通院し健康管理に努めることとし、職員検診にて異常があれば、かかりつけ医等に必ず受診しその結果を上司に報告することを徹底した。衛生委員、看護師を中心として健康管理に対する意識を高めた。

（4）　職員とその家族から、体調不良の要因を施設に持ち込まないように徹底した。

（5）　衛生委員を推進役とし、朝の打ち合わせ終了後に「体操・ストレッチ」を取入れ、転倒腰痛予防対策を行った。

（6）　ストレスチェックの実施とその結果を産業医に報告し、意見を求めた。

（7）　インカムの使用頻度を高め、職員間の意思疎通がタイムリーに行えるよう努めた。

5．　サービス提供者としての資質向上

（1）　サービス提供者としての自覚（接遇する姿勢）を持つ。

（2）　ゆとりある支援に努める。

（3）　内部研修の実践と外部研修への積極的な参加。

・　新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる研修も多く、オンライン研修への対応を行った。

（4）　職員一人ひとりが事業所（施設）に愛着を持てるよう「帰属意識」を養った。

（富士清心園）

1．　施設支援

（1）　勤務体制

・　夜勤職員２名、早番１名、遅番１名体制を継続。

・　生活支援員の補充及び育休職員の復帰により、７月から人員配置が３：１から2.5：１に変更となった。

（2）　日中活動の取組み

①　寮外活動グループ

・　農園芸活動を通じ、自然の中で無理なく身体を動かし健康維持を図ることを目的とし、収穫したものは食事やおやつに利用し、利用者に喜んでもらった。

・　よもぎ活動については静岡県畜産技術研究所の敷地にて２回収穫を行い、よもぎ入浴剤として朝霧高原道の駅にて販売し、その収益で種苗・利用者おやつを購入した。

・　環境整備として、園内外の草刈りや植込みの剪定を行った。

②　寮内活動グループ

・　通所利用者及び高齢利用者と屋外活動が困難な利用者を対象に、体力・健康・身体機能維持・作業前訓練を目的として行った。感染症への対応として、通所と入所のエリア分けを行いながら、個々に合った活動を行った。

（3）　文化活動

①　茶道（年７回　講師：塩谷光宏氏、塩谷順子氏、長谷川はるひ氏）

・　外部講師を招き、参加利用者の状況に合わせた活動内容とした。

②　陶芸　（年５回　講師：小割祥嗣氏）

・　三園合同の活動に５名参加し、完成した共同作品は愛護ギャラリー展で発表した。

③　書道　（年４回）

・　実施月によりテーマを提示し、利用者の感性にて自由に表現した。

・　作品は支援員が工夫してデコレートし廊下に展示、作品展にて発表した。

④　音楽　（年９回）

・　行事での発表を目標とし、動画配信を中心に少ない支援員数でも実施できるよう環境を整えた。

⑤　絵画、貼り絵

・　愛護ギャラリー展や富士宮市福祉作品展での発表を目指して取組んだ。また、山宮１区の文化祭に作品を展示した。

（４）　余暇活動

①　ＤＶＤ鑑賞会

・　プロジェクターや２階談話室のテレビを活用して実施。利用者が興味のある映画やアニメを上映した。

②　カラオケ

・　歌うことが好きな利用者を対象に実施し、外出しなくても寮内で楽しめるものとして、利用者の楽しみとなっている。

③　季節行事

・　前期はゲーム大会、中期は新年会、後期は納会を行い、季節に合うよう工夫を凝らし利用者の楽しみとした。

２．　健康管理

（１）　感染症対策

・　昨年度に引き続き、感染症対策を徹底した。定時の換気、消毒を行い感染症への配慮を行った。利用者発熱時には、即感染症対応を行うことが定例となった。

・　通所利用者と入所利用者が混在しないよう、可能な限り生活空間の分離を行った。

・　新型コロナの感染状況に応じて、外出・外泊を自粛していただき、希望があればリモート面会を実施した。

・　令和６年１月１８日から２月７日にかけて、ノロウイルスが発生し利用者２１名に主に嘔吐発熱の症状がみられた。

・　１０月にインフルエンザ予防接種を実施した。

（２）　日常の健康管理

・　早期発見、早期通院を心掛けるよう、毎日の健康チェックを継続して行った。

・　フジヤマ病院の協力の下、継続的な診療を必要とする利用者に対して往診を行った。

３．　サービスの質の向上

（１）　個別支援計画作成、モニタリング、個別面談を通して支援内容の共有、改善を行った。

・　前期・後期面談とも感染症への配慮を行いながら対面で行った。

（２）　生活支援員の専門知識や支援技術の向上を図るため、動画配信研修（サポーターズカレッジ）を継続して行った。職位に応じた研修計画を立て、短時間かつ自由な時間で講座を受講きるため、月３回受講し報告書を提出、新任職員には別途新任用の計画を立て実施した。

（３）　インカムを使用し、緊急時の対応と情報の周知を図ったが、一部使用の徹底がなされていないこともあり利用者の怪我の発見が遅れることがあった。これを機に、インカム使用の再度徹底を図り改善を行った。

４．　施設整備

設計監理業務は株式会社アルファ設計とし、工事期間中は建設委員会を中心に週１回の定例会を実施し、利用者の安全配慮に努め、各施設、各部署の協力体制の下、工事を進めた。

令和５年	７月　３日	静岡県令和５年度社会福祉施設等施設整備補助金交付内示
	７月１０日	制限付き一般競争入札　井上建設株式会社落札
	７月１４日	令和５年度富士宮市社会福祉施設整備費事業交付決定
	７月１５日	着工
	１０月２３日	静岡県令和５年度社会福祉施設等施設整備補助金交付決定
令和６年	１月１７日	静岡県中間検査
	３月１４日	建築建物施主検査
	３月１５日	建築確認、消防検査
	３月２２日	竣工
	３月２５日	静岡県完了検査
		静岡県令和５年度社会福祉施設等施設整備補助金交付
	４月　９日	静岡県令和５年度社会福祉施設等施設整備補助金交付確定
	５月１５日	富士宮市令和５年度富士宮市社会福祉施設整備費事業交付

新しい建物は、短期入所定員を２名増員、感染症対策を考慮し①全居室個室化、②全居室掃出し窓の設置、③各居室換気のための空調完備、④通所と入所、入所エリアの男女エリア分け等の工夫を施した。また、浴槽に入ることが大変な利用者にも安心して入浴いただけるよう、特殊浴槽を各階に設置した。職員の動線を意識した造りとし、電子キーを導入した。

５．　業務委託

シダックスフードサービス株式会社と食事サービスの業務委託契約を継続したが、法人全体の給食業務委託が決定したため、３月３１日をもって契約終了となる。令和６年度から富士産業株式会社へ業務委託となる。

（富士明成園）

Ⅰ.　施設支援

（1）　勤務体制と利用者状況

①　施設入所支援

・　早番職員２名、遅番職員２名、夜勤職員３名体制で行ってきたが、職員不足により平日の早番を１名とし勤務の調整を行った。

・　職員間で連携し、勤務者間で情報を共有して利用者支援を行った。

・　発熱者が出た場合、北棟と南棟、南女子棟の行き来を制限し、感染症対策に努めた。

・　利用者の不調が確認された場合、早期対応を心掛け、緊急時の対応を周知した。

・　特定の利用者４名の入院があり、腸閉塞・誤嚥性肺炎・脳梗塞等が主な内容であった。排便コントロールが必要なケースが多く、早期に下剤の調整を行っている。

・　利用者の通院については、フジヤマ病院根本院長による往診により、通院件数の減少につながった。また、フジヤマ病院から処方される薬については、富士宮薬局との連携により分包済みの処方薬の受取が可能となり、看護師による分包が軽減された。

・　入所利用者現員 45 名（定員 50 名）
退所利用者１名　腸閉塞・腹部膨満等で年間７回入退院を繰返し施設支援が困難のため
入所利用者１名　他の障害者支援施設

②　生活介護　人員配置体制加算Ⅱに変更

・　利用者 2.5 名に対し生活支援員１名を配置していたが、年度切替えの際、職員が増え、４月より２名に対して生活支援員１名配置に変更となった。サービスの質の向上を図るため職員確保が必要な状況。

（2）　日中活動

①　療育グループ

・　重複障害・強度行動障害の利用者への体力づくり・個別活動により、利用者が落ち着いて取り組めるメニューを提供した。

・　壮年期を迎えた利用者については健康面のケアが重要で、青年期の方については情緒の安定を図るためのケアが重要である。グループ内での活動のバランスのとり方が課題である。

②　生き活きグループ

・　身体麻痺のある利用者へのリハビリ支援（個別メニューの継続）高齢者中心に楽しめる体操、個別活動を実施。

・　フジヤマ病院の理学療法士が定期的に訪れることが可能となり定期評価を実施。個々に適したメニューについて見直しができ、週案に定期的に個別リハビリを行う機会を確保した。

・　午後のゆとり活動については、場所を限定せずに居室・談話コーナー・多目的ホールなど手作業等利用者が選択できるよう配慮し、楽しみや達成感を感じられるように努めた。

③　自活グループ

・　身体や脳を動かすことを心がけ、心身の活性化を目指し、動画を活用した体操や運動、歩行を取り入れている。

・　創作活動でお花紙を利用しフラワーポッド風アート「お花畑」を作成。愛護ギャラリーに出展し銅賞を受賞した。

（３）　その他の活動

①　陶芸活動（毎月第三木曜日　講師：小割祥嗣氏）

・　利用者10名が参加し、土に触れる楽しさと作品を仕上げる喜びを体感した。

・　個々の作品については、球・棒・皿状のものをそれぞれの感性で組み合わせて作品作りを行った。

・　愛護ギャラリー展に共同作品として「風鈴」を出展し、銅賞を受賞した。

・　令和４年度に作成した共同作品「ふしぎな世界」が障がい者芸術祭にて展示された。

②　音感療法（毎週火曜日　講師：梶田真弓氏）

・　利用者20名が参加し、音感療法の考えを基に問題となっている行動の軽減等利用者それぞれの目的を明確にして実施。

・　北棟、女子棟、南棟へと講師が場所を移動して行う寮内音感を継続し、内容の充実を図った。

・　コミュニケーションが難しい利用者の音楽的感覚を養った。

・　みんなで歌おう会（月１回）に20～30名参加。

・　令和６年３月５日に音感療法で取り組んだ内容の発表と歌おう会を実施。

③　園芸活動

・　寮内に野の花を飾ったり季節に沿った花や植物の写真を談話コーナーに飾り、寮内に彩りが出せるように努めたことで、季節を伝えたり、花の名前を知ったりなど利用者とのコミュニケーションを増やすことができた。

２．　健康管理

（１）　不調の訴えのできない利用者が多くいるため、バイタルチェック（検温、血圧測定等）を行い、普段と違う状況に気づいた場合は、医療機関への早期受診を行った。

（２）　感染症対策

・　インフルエンザ予防接種を令和５年11月２日に実施、利用者の発症はなかった。

・　新型コロナウイルス対策について、６回目のワクチン接種を令和５年７月13日、７回目接種を令和５年12月７日に学園にて行った。

・　昨年度より引続き感染症対策に努めてきていたが、令和６年２月29日に新型コロナ感染症を利用者が発症し、３月11日までの期間に利用者11名、生活支援員３名が罹患した。

３．　サービスの質の向上

（１）　虐待防止への取組み

・　令和５年５月31日に虐待の事案が発生。状況確認後、６月２日に富士宮市障がい療育支援課に報告を行った。６月５日に富士宮市職員２名にて現地確認を実施。６月８日法人内虐待防止委員会を実施し、内容の報告及び再発防止に向けた取り組みについて検討。６月16日富士宮市より結果通知書が届き「身体的虐待」と判断され、改善計画の作成と外部有

識者のスーパーバイズを受け再発防止に取り組むよう指示があった。

・ 7月5日富士明成園支援部会議に外部より富士宮市職員2名、基幹相談センターのコーディネーター、富士圏域発達障害支援コーディネーター計4名が参加し意見交換を行った。
・ 7月27日虐待防止委員会（第三者委員参加）実施。
・ 8月18日再発防止改善計画を提出。改善点は以下のとおり。

◎ 業務体制に関する改善点　業務体制の見直し、業務マニュアルの修正

◎ 職員資質向上に向けた取組み　知的障害への理解の方法、接遇への取組み

◎ 環境改善に向けた取組み　職員が孤立しない環境づくりの構築、改善ポイントの整理

◎ 虐待防止に向けた定期的なチェック体制の継続　年4回のチェックリストを継続

（2） 職員の資質向上委員会における取組み

・ 月間目標をより具体的な内容に変更、月間目標に関するアンケートを実施し、振り返りを行った。

（3） 内部研修の実施

・ サポーターズカレッジを継続し、年間を通じてWeb研修を受講した。
・ 救急対応訓練を実施。AEDと心肺蘇生訓練用人形を使用し訓練を行う。また、実際に起きた事例をもとに「こんな時どうする？」といった意見交換を行った。
・ 強度行動障害について、強度行動障害を有する利用者への理解を目的にケース検討を実施。

（4） 生活向上委員会による寮内清掃や消毒の実施。

（5） 利用者・保護者満足委員会において、行事ごとに利用者アンケートを実施し、意見や感想を確認している。アンケートで得た情報を生かして利用者が楽しみにしてくれる行事を計画できるよう努める。

4． 施設整備

（1） 業務用大型洗濯機の入替工事の実施。

（2） 環境改善として、利用者談話コーナーのソファーの入替、職員・実習生のための物品（電子レンジ・冷蔵庫・ワゴン等）を購入。

（3） 新型コロナ感染症対策に必要な物品の購入。

（4） 必要な介護用品を購入し、利用者の生活の拡充を図った。

＜第二種社会福祉事業＞

障害福祉サービス事業

(サポートセンターあさひで)

利用者の「働きたい」という願いを一人ひとりに焦点を当て、体験や経験の機会を提供する中で関連機関との連携を図り、安定した就労(一般就労・福祉的就労)の実現に取組んだ。

1. 就労移行支援 定員6名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ利用	71	72	69	56	56	59	64	61	72	60	56	62

・ 利用延べ人数 758名

・ 収入額 合計 8,201,728円

(2) 利用者の適性に合わせた個別支援計画の作成

・ 利用者の基本的な適性を図るために事業所内で下請け作業を行い、出勤状況、適性や課題の把握等基礎的な訓練を実施したうえで、企業見学・職場実習を実施。

・ 一般就労の実現

(3) フォローアップの強化

・ 仕事が終了した後や休日に、日中一時支援の利用を可能とし、本人の状況把握や相談等を実施。

2. 就労継続支援B型 定員14名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ利用	305	331	328	325	316	303	329	301	322	319	291	323

・ 利用延べ人数 3,793名

・ 収入額 合計 26,063,435円

(2) 安定した生産活動の機会を提供するため、施設外就労と下請作業の支援を実施した。

① 施設外就労

・ 法人の受注 エアコン清掃、屋外トイレ清掃、芝生広場の管理、自動販売機清掃等

・ サンファーム富士山 アメーラトマト栽培用ビニールハウスの片付け作業

・ 羅松園 盆栽の苔・雑草取り、盆栽の植替え準備等を実施

② 下請作業

・　８社の企業から請負作業を行った。年間を通じて作業を確保できた。

③　自主生産

・　蜜蝋ロウソクの販売　企業からの注文はないがセンターの玄関に展示し希望者に販売、今後はイベント等での販路を開拓したい。

・　雑巾　給食部から注文（無地雑巾）が定期的に入る一方、「こころぴかぴかタオル雑巾」として絵柄のタグを付け販売。子ども参観日にオリジナル雑巾作り体験を行った。

・　古紙及びアルミ缶回収　法人敷地内に回収ボックスを設置し、定期回収場所の拡充を継続、企業からの古紙回収量も安定。

⇒　富士宮市古紙等リサイクル活動団体に登録し、奨励金の交付を受ける

（３）　令和５年度　平均工賃額22,727円（前年度18,069円）

３．　就労状況　令和５年度該当者なし

４．　内職（施設外就労含む）取引先

サービス区分	企業名	作業内容
下請作業	富士大洋株式会社	クラフト箱折り
	富士宮通運株式会社	化粧品箱折り
	サヌキ印刷株式会社 静岡支店　富士工場	箱折り（菓子、蒲鉾等）各種
	富士宮ターポリン工業所	緩衝材（紙）の折りと結束
	株式会社フジマクロ	古紙・アルミ缶回収
	コアレックス信栄株式会社	古紙（古紙回収ボックス）
	ミツワ	ポケットティッシュの袋詰め
	アイパックスイケタニ株式会社 西富士事業所	菓子箱折り
	アイパックスイケタニ株式会社 山宮事業所	車部品の緩衝材・古紙回収
	富士宮市福祉企画課	配布資料の訂正シール貼り、封筒への封入作業
	社会福祉法人富士旭出学園	茶パック、牛乳・ヨーグルト配達
施設外就労	社会福祉法人富士旭出学園	芝生広場の管理、各種清掃業務
その他	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社・東海ビバレッジ株式会社	法人内自動販売機清掃・消毒管理
	社会福祉法人富士旭出学園	法人行事粗品等準備

５．　関係機関との連携

ハローワーク・関係機関・企業等との連携に努め、特別支援学校や特別支援学級からの実習生を積極的に受入れ、卒業後の進路先としても受入れを行った。

6．　地域との関わり

事業所を地域福祉資源としてとらえ、利用方法等について検討し、事業所についての説明会は随時対応し、事業所を理解してもらうように努めた。また、宮原区と山宮区の文化祭にサポートセンターあさひで利用者が作成した絵画・書道等を展示し、地域の方に作品を見てもらうことができた。

7．　防犯体制・防火体制の確立

①　綜合警備保障株式会社による防犯体制

②　プロパンガス発電機の購入後、定期的に点検を行った

8．　個々の利用者のニーズに対応できる支援

（１）　文化活動（絵画・創作等）

愛護ギャラリー展、富士宮市福祉作品展、富士旭出学園作品展等へ出展

（２）　健康管理

①　感染症予防マニュアルに則った、手洗い・うがいの習慣を励行

②　在宅要介護者歯科保健支援プログラム

富士宮市保健センターにて前期令和５年８月30日、後期令和６年２月27日実施

③　希望者へのインフルエンザ予防接種を実施

（共同生活援助事業所　サニーヒル）

１．　利用者の状況

（１）　あわくらホーム　定員：男性６名　現員：５名　（一般就労３名　福祉的就労２名）

（２）　三園平ホーム　定員：女性５名　現員：５名　（一般就労２名　福祉的就労３名）

２．　支援の状況

（１）　生活支援員の配置

・　生活支援員を配置することにより、日々利用者や世話人と対面することができ、問題の早期発見、早期解決ができた。また、生活支援員の勤務体制に、当直・早番・遅番を取入れることにより、夜間の利用者の状況を把握し、個別支援計画に反映することができた。
７月より、生活支援員を２名体制（１名世話人兼務）とすることで、業務の分担を行った。

・　通院、食事注文、小遣い管理、帰省把握、相談事業所との連絡の業務を、生活支援員が担うことにより、急遽の変更に対応し迅速に対応を行うことができた。

（２）　あわくらホーム

・　世話人　３名で交代勤務（12月より世話人１名就業）

・　勤務時間　６：30～９：30、16：00～19：00（１日の支援時間：６時間）

・　４月より利用者１名入居、ホームでの生活にすぐに溶け込むことができている。

（3）　三園平ホーム

・　世話人　３名で交代勤務

・　勤務時間　６：30～９：30、16：00～19：00（１日の支援時間：６時間）

（4）　WEB 巡回

・　毎日、生活支援員が交代でWEBによる巡回を行った。利用者の所在確認、日々の出来事の報告を行った。

（5）　利用者の健康への配慮

・　朝、夕の食材を業務委託し、栄養管理、食事量の配慮を業者と調整しながら行い、食費に見合う食事内容を検討している。

・　健康チェック（血圧・体温測定）、服薬支援を行い、利用者の健康管理に努めた。

・　感染症の流行に伴い、外出外泊の自粛を行った。行動範囲の制限など、利用者の協力のもと理解を得ながら実施した。

（6）　その他

・　各ホームで非常食及び衛生用品の補充を行った。

・　緊急時への備えとして、法人・施設の連絡先を各ホームへ掲示している。

・　災害時及び緊急時に備え、綜合警備保障㈱との契約を継続している。

（7）　利用者の交流

・　新型コロナウイルス感染症への配慮から、利用者交流事業（日帰り旅行）は中止し、各ホームにてクリスマス会を実施した。

（障害者短期入所事業）

居宅においてその介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間入所を必要とする障害者に対し入浴、排泄、食事等の介護や日常生活上の支援を実施した。

１．富士厚生園　定員５名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ利用	9	13	14	6	10	8	28	51	44	34	31	31

②　利用のべ人数　　　合計　　　279名（昨年度116名）

③　収入額　　　市町　合計　2,262,793円　　　利用者　合計　209,202円

２．富士清心園　定員３名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ利用	16	38	16	25	26	19	46	30	12	13	14	25

② 利用のべ人数　　　　　合計　　　310名（昨年度198名）

③ 収入額　　　　　市町　合計　2,515,025円　　　　利用者　　合計　222,920円

3．富士明成園　定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ利用	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	13	18

② 利用のべ人数　　　　　合計　　　42名（昨年度76名）

③ 収入額　　　　　市町　合計　497,300円　　　　利用者　　合計　38,856円

指定計画相談支援事業

（指定特定相談事業所 ふじあさひで）

1．サービス利用支援

（1）　障害福祉サービスの申請に係る障害者の心身の状況、環境、サービス利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービスの種類及び内容を記載した「サービス等利用計画（案）」を作成→　支給決定後に、支給決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成

（2）　計画作成実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和5年　4月	富士市　11件　小山町　1件　富士河口湖町　1件　品川区　1件　練馬区　2件	16
5月	富士宮市　2件　葉山町　1件	3
6月	富士宮市　2件　沼津市　1件	3
7月	富士宮市　4件	4
9月	富士宮市　1件	1
10月	富士市　2件	2
11月	富士宮市　1件　静岡市　1件	2
12月	富士宮市　1件　寒川町　1件	2
令和6年　1月	小山町　1件	1

提供件数合計　　34件

2．継続サービス利用支援

（１） 支給決定の有効期間内において、当該者に係るサービス等利用計画が適当であるかどうか、指定された期間ごとに、「サービス等利用計画」の評価（モニタリング）を行った。

（２）モニタリング実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和５年 ４月	富士宮市 １件 富士市 ４件 静岡市 ７件	12
５月	富士宮市 １件 沼津市 ５件 鎌倉市 １件 小田原市 １件 板橋区 ２件 寒川町 １件	11
６月	富士宮市 57件 伊東市 ２件 伊豆市 ２件	61
７月	富士宮市 １件 世田谷区 １件 都城市 １件	3
８月	三島市 １件 焼津市 １件 杉並区 １件	3
９月	富士宮市 １件 富士市 11件 牧之原市 １件 小山町 １件 富士河口湖町 １件 品川区 １件 練馬区 ２件 港区 １件 渋谷区 １件	20
10月	富士宮市 １件 富士市 ３件 静岡市 ６件 葉山町 １件	11
11月	富士宮市 ３件 沼津市 ５件 鎌倉市 １件 小田原市 １件 板橋区 ２件	12
12月	富士宮市 61件 沼津市 １件伊東市 ２件 伊豆市 ２件	66
令和６年 １月	富士宮市 １件 世田谷区 １件	2
２月	富士宮市 １件 三島市 １件 焼津市 １件 杉並区 １件 富士河口湖町 １件	5
３月	富士宮市 １件 富士市 13件 牧之原市 １件 港区 １件 伊豆の国市 １件 品川区 １件 練馬区 ２件	20

提供件数合計 226件

＜公　益　事　業＞

地域生活支援事業

（日中一時支援事業）

日中における活動の場を確保し障害児（者）の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として支援を実施した。

１．富士厚生園　定員３名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用	23	20	21	19	21	22	28	20	26	19	19	23	261

②　収入額　　市町　合計　952,200円　　利用者　合計　14,850円

２．富士清心園　定員３名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用	30	34	37	38	39	37	38	43	40	28	40	46	450

②　収入額　　市町　合計　2,482,200円　　利用者　合計　196,350円

３．富士明成園　定員６名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用	5	6	4	9	5	5	6	7	5	5	7	3	67

②　収入額　　市町　合計　482,400円　　利用者　合計　36,300円

４．サポートセンターあさひで　定員５名

①　利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用	25	24	18	15	9	15	14	12	15	12	13	12	184

②　収入額　　市町　合計　334,200円　　利用者　合計　0円

令和５年度　事業報告附属明細書

事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書への記載はありません。